

# 日連「川本体制」始動

## リーダーシップ発揮に期待

日本エルピィガス連合会は6月7日に開いた通常総会で、新会長に川本宜彦氏(埼玉県協会)を選出、川本体制が始動した。新会長就任の挨拶で、川本氏は「さらなる保安の高度化の取引適正化・透明化の一層の推進」③公益法人制度改革への対応とLPガス流通団体に統合・一元化に必要な改組・改革——の3点に取り組みと所信表明し、新たな船出を切った。

副会長には米田正幸(広島県)、菊池鴻逸(神奈川県)、寺崎和典(福岡県)、根本一彌(福岡県)の各氏を選



副会長には米田正幸(広島県)、菊池鴻逸(神奈川県)、寺崎和典(福岡県)、根本一彌(福岡県)の各氏を選出。日連新執行部

出。日連新執行部では「同業者」(同じく労働し苦勞する仲間)として固く結束し、炎の伝道者として全力で臨むと宣言した。

LPガス産業が始まって50年。時代は急速に変化し、LPガス業界は大きな転換期を迎えている。電力、都市ガスとのエネルギー間競争の激化、CO中毒事故に伴う消費者からの信頼回復など直面する課題も山積している。「日連はいわば

努めていく」と決意を語った川本会長。今後、LPガス業界が信頼され選ばれ続けるためには、元売・卸業者の役割もさることながら、直接消費者との接点を持つ小売業界の果たす役割は非常に重要となってくる。小売業界を束ねる全国組織である日連が今後、いかに力シを取り、リーダーシップを発揮するかに大きな期待がかかる。

LPガス知事会、のようなもの、47都道府下に協会(公益法人)があり、その下に2万5000弱の会員がいて、2800万世帯のお客様を擁している。ガス体エネルギー業界の一翼として、安全・安心な国づくりに